

令和4年度評議員会（機関運営に関するコメントおよび回答）

コメントおよび回答

（コメント1）

Youtubeの配信は有効。学生もYoutubeなら見ているようです。

（回答1）

ご意見のとおり、情報の発信方法は多様になり、年齢層によっても好まれる媒体が異なっています。そのため、多くの方に触れていただけるよう、多様な発信方法を取り入れ、それぞれの特徴を生かした発信に努めて参ります。

（コメント2）

普段、障害者施設で勤務しています。障害を持つ方が家として暮らすグループホームですが、日中活動先のある方には、そちらの施設で環境について考える日があり、DVD視聴などがあるようです。

障害のある方もその方の特性なりの感受性を持って学ばれるのだと感じるが、そういった方達への情報公開の機会があるといいと思う。

実際、動画で文字が画面に流れるものや、やさしい日本語で表現されたものがあるので、こちらのそういった情報発信をしていただけると嬉しいと思います。

（回答2）

試験研究の成果は難しく、伝わりにくい部分がありますが、どなたにもわかりやすい情報発信を行い、関心を持っていただき、さらに様々な価値観や特性を活かして環境保全に参画いただくことが環境の改善にとって重要であると考えております。これはMLGsの根幹の考え方にもなっています。ご示唆いただいたとおり、多くの方が触れられる、関心を持っていただけるような情報発信に努めて参ります。

（コメント3）

琵琶湖環境科学研究センターは、特定湖沼に着目して、自然科学だけでなく人文社会科学の多様な研究者を集めた、世界的にも極めてユニークな研究所です。このような貴重かつ重要な研究所なので、私は琵琶湖環境科学研究センターに大いに期待しています。

（回答3）

ありがとうございます。センターでは理学分野だけでなく、社会学あるいは心理学を専門とする研究員も在籍し、様々な視点で研究を進めており、県民の方の意識を把握した上で、行動変容につながる研究も設定しているところです。これからも積極的に当センターならではの研究を進めて参ります。

(コメント4)

全体として、機関として向上しようという取り組みは評価できました。研究力向上のためには息の長い取り組みが必要になるかと思えます。中期計画の期間のみではなく、長期的な研究所の方向性について一定の方向性や理念をもって計画を練って取り組んで行くことを望みます。

(回答4)

ご意見のとおり、研究内容により3年間ですべての成果を出すことが難しいテーマもあり、また状況の変化や新たな知見により方向性を修正する必要があることもあります。柔軟な対応とともに、3年間の期間にとらわれない長期的な方向性を持ち、一貫した考え方のもと研究を進めることが重要と考えております。そういったことも十分に留意しながら、根幹となる研究力を向上するため、積極的に論文投稿などを行って参ります。